

第2回愛媛 FC サポーターズミーティング議事録

2012.06.07.19 : 00~21:00

松山市コミュニティーセンター大会議室

(名前敬称略)

和泉(司会者)

今日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございました。前回サポーターズミーティングを行い、今後は報告を兼ねて半年ごとには行いたいと話していた、少し早いかと思いましたが、いろいろ報道や情報が飛び交う中、これといった動きが全くないのでないの、このタイミングかなと、開催しました。まずは、主催者よりご挨拶申し上げます。

大野(主催者)

ゴール裏ネットの大野です。今年はいろいろ企画をして実際に行動しています。みなさんとどんどん盛り上げたいと思っています。(以下スライドにて説明)

ゴールデンウィークに行ったボラティアツアーについての報告。

また、先日の岡山戦でみなさんにフラッグに寄せ書きをしていただいたのをボランティアツアーで知り合いになった仙台サポさんにプレゼントした。今日、商店街に届いた。

次の目標としては

① コレオをしたいと考えている。ロアッソ、サンガなど、でもしている。

B3 サイズで複数使える丈夫な材質で。2000 枚製作費(暫定)

現在の見積もり 231000 円⇒愛媛県からの補助 100000 円

ゴール裏のレイアウトがわかれば、必要枚数がでるので、本当はそれに合わせて作りたいが……。サイドスタンド改修後最初の試合でしたい。年内にバクスタでも 1 回テスト

② アウエイバスツアーも毎試合企画を引き続きしていく。オフィシャルでのバスツアーなども合わせて、大勢でアウエイを盛り上げて選手の力になりたい。また、レディース、ユースなど下部組織の応援も積極的に行きたい。6 月にはユースの徳島とのダービー、ヴェルディ戦ではレディースとトップのダブルヘッダーなどがある。早くから会場入りして盛り上げていきたいので、ご協力お願いします。

和泉(司会者)

前回のミーティングでアウエイツアー、入り待ち、などをして、盛り上げていきたいといろいろな案が出ておりましたが、これを受けて今年どんな取り組みを始めているかを教えていただきたい。

松本(参加者)

ラランジャトルシーダの松本です。今年は入り待ちを盛大に盛り上げることを始めた。ボブさん達も、また、一平君にもゴール裏ネットから太鼓を貸して、一緒に選手を勇気づけています。一平君は太鼓を現在練習中。そのうち一人でできるように。

この取り組みの目的は、ホームスタジアムに早く人を集めたいというものがあった。(来場が遅なのめがニスタの特徴だったので)早く来てもらって、スタグルメを楽しんでもらって、選手が練習に入るころには応援を始めたい。という思いもあった。また、レディース、ユースの応援も言っているが、5人や10人のこともある、もっと来てほしい。レディース、ユースの選手にも、愛媛を背負っているという気持ちを持ってもらって、頑張ってもらいたい。

また、前回スタジアム内でのサポーター同士でのコミュニケーションをもっとしっかりしてはどうかとの意見がでました。今は挨拶に気を付けてしている。みなさんも挨拶、声掛けなど、協力お願いします。今年、選手たちボルバというテーマをもとに体を張って闘ってくれているのでその気持ちを、無駄にせず、皆で足を運んで盛り上げたい。

ボブ(参加者)

前回にお願いしました横断幕カンパ、制作手伝いありがとうございました。2枚作成。完成して、貼っています(スライドにて紹介)

入り待ち・・・新しいチャントも作って、盛り上げている。チームが入場時間を変更してくれたので、集まりやすくなった。今後は年に2回くらい、入り待ちの前にスタンドで応援を盛り上げてから、入り待ちへ、とスタジアムをもっと盛り上げるイベントをしてみたい。応援場所がバックスタに変更になっているが、引き続きよろしくお願いします。「この待ちで」は、ぼちぼち定着してきたが、この瞬間だけでも、メイン側盛大にもフラッグを振ってもらったら、ますますスタジアムの一体感が生まれると思いますのでご協力お願いします。

宮本奈苗(参加者)

オーレキッズ担当の宮本奈苗です。今年から母恵夢さんにバックアップしていただいて、オーレキッズの活動を開始知ることができました。スタジアムに来る子供を増やし、子供たちで集まって応援しようという試みです。

- ① スタンプカードを作成し、来場ごとにスタンプを押してスタンプが集まった個数に合わせてプレゼントを。
- ② 5/27時点で197名の会員。小学生限定で始めたが、皆さんの声を受けて、小学生以下に広げた。未就学児童は保護者同伴が条件。
- ③ バックスタンドキッズゾーンでの応援。毎試合20名は集まって子供たちで応援。ゴール裏さんのはからいで、キッズコールリーダーを体験してみて、応援を盛り上げる取り

組みもしている。今後は、キッズゾーンで応援する子供を増やしたい。

- ④ 夢バスも2回運行。松山市駅から、バスに子供たちを乗せて、ニンスタに行き、スタジアムイベントを楽しみ、スタジアム内での選手とのハイタッチ体験、バックスタンドでの声出し応援、試合終了後の選手の出待ち体験などを行っている。いずれも大人気でお申し込みは定員きっちり。次回は7/29の大分戦で行う。
- ⑤ 毎試合メインスタンド側エコステーション横のオーレキッズゾーンで運営をしている。子供たちがスタンプを押したりと運営しているが、大人の協力も必要なので、ご協力お願いします。

和泉(司会者)

関東での愛媛FCのゲームで愛媛の物産店を行っている。千葉では200万円もの売上。

今後、盛り上げていければいいなと思います。

ここまでのところで、意見提案お褒めの言葉、などありませんか？

・・・ないようですので、クラブライセンス制度について、亀井社長、佐伯GMから説明させていただきます。

佐伯(GM)

今日は大勢の方にお集まりいただき、また、このような会にお招きいただき本当にありがとうございます。

クラブライセンス制度と、スタジアム問題について話します。

■クラブライセンス制度とスタジアムについて (PPT資料を用いて説明)

※青字：スライドの内容 / 黒字：補足説明をした内容

〈スライド1〉

クラブライセンス制度について

〈スライド2〉

クラブライセンス制度とは

背景：発祥はドイツサッカー協会のライセンス制度

毎年全クラブのリーグ戦への参加資格をチェックするための基準。

ドイツの制度をもとに、UEFAが2004/2005シーズンより導入。UEFAチャンピオンズリーグへの参加資格を定めた。※UEFA=ヨーロッパサッカー連盟

〈スライド3〉

クラブライセンス制度とは

透明性の確保などを通じてUEFAチャンピオンズリーグの価値向上に寄与したことから、

FIFA も 2007 年 10 月にクラブライセンス制度を承認し、2008 年 1 月より導入。

AFC は 2009 年 3 月、加盟国に対して ACL の参加資格を定めるためにクラブライセンス制度の導入を通達し、2010 年 3 月、2013 年シーズンの ACL 参加資格としてのクラブライセンス導入を承認した。※FIFA=国際サッカー連盟、AFC=アジアサッカー連盟、ACL=アジアチャンピオンズリーグ

⇒ACL が規模の大きな大会になってきたため、AFC もライセンス制度を導入。

〈スライド 4〉

クラブライセンス制度の目的 ⇒日本独自の目的

- ①日本サッカーのさらなる水準の向上
- ②クラブの経営の更なる安定化および組織運営体制の充実
- ③JFA および J リーグの諸規定のほか、各種法令、諸規則の遵守
- ④安全で充実した機能を備え、サービスの行き届いた観戦環境及びトレーニング環境の整備
- ⑤シーズンを通じた国内および国際的な競技会の継続性の維持
- ⑥競技会における、財務上のフェアプレーの監視

⇒経営破たんをするクラブなしで、リーグをどう続けていくか、ということ。事前にきちんとした体制でクラブ経営をしていくことで、破たんするクラブがなくなる。

〈スライド 5〉

審査上の基準と等級 ⇒各基準の中で細かな基準が設けられている。

①競技基準

⇒下部組織を持たなければならない、審判とコミュニケーションを取らなければならない等。普通にやっていたらクリアできる。

②施設基準

⇒主にスタジアムに当てはまる。ハードルが高い。

③人事体制・組織運営基準

⇒J リーグに加入する際に審査を受けており、よほどのことが無い限りは問題なし。

④法務基準

⇒日本の法律の遵守からサッカー協会の規定等の遵守まで。普通にやっていたらクリアできる。

⑤財務基準

⇒難関が 3 点ほどある。

※各ライセンス基準は J1 クラブと J2 クラブ基準で求められる内容が異なることがある。

⇒②と⑤に関しては、クラブにとっては、高いハードルとなる。

〈スライド 6〉

施設基準

J1 ライセンスと J2 ライセンス

J1 基準：座席数 15,000 席以上

J2 基準：座席数 10,000 席以上

※芝生席はカウントしない

ニンジニアスタジアムは現在 10,000 席

⇒ぎりぎり J2 基準をクリアできている。(現在 J2 基準はクリア、J1 基準はノンクリア)

〈スライド 7〉

改修計画

ニンジニアスタジアムは 2017 年の愛媛国体に向けての改修により 2014 年 4 月には、15,000 席を超える予定。

工事計画や国体改修なので予算もついていることから愛媛県とともに J1 ライセンス発行に向けて J リーグと協議をしていく予定。

⇒あくまでも予定だが、既に予算済みで、工事計画もたてられている。

〈スライド 8〉

財務基準 ⇒どのクラブも厳しいと感じている。

・ 3 期連続で当期損失を計上した場合 2012 年度より開始

⇒2012 年、2013 年、2014 年で赤字経営だった場合は、J リーグのライセンスをはく奪され、2015 年は J リーグに所属できない。

・ 債務超過である場合 2014 年度から

・ 公認会計士または監査法人の監査

⇒義務付けされているが、監査法人をすでに入れていることをリーグに報告済み。

〈スライド 9〉

スケジュール

・ 6 月 30 日 提出完了 ⇒スタジアム以外の書類はほぼ完成。

・ 書類審査／現地調査

・ 9 月 30 日 ライセンス交付 上訴

⇒交付されたライセンスに不服がある場合は、上訴を申し立てる。

・ 11 月 30 日 翌シーズンのカテゴリーが決定

⇒11 月 30 日が最終となる。(プレーオフなどの結果が出た後に最終の答えが出る。)

〈スライド 10〉

総括

愛媛 FC は、J1 クラブライセンス取得のため、健全経営の中、J1 に向けたチーム強化を図ります。

また、ニンジニアスタジアムの J1 ライセンス取得のため自治体と協力して、早期の取得を目指します。

和泉(司会者)

ありがとうございました。実際に何が足りて、何が足りないかをもう一度、具体的に教えてください。

佐伯(GM)

一番は 15000 人の観客席の確保をしなければいけないこと。プレイオフ圏内になっても、参加権がなくなるので、選手たちもそれに向かって頑張っている中、士気にかかわる。今後も県と協議を重ねて、良い方向に持っていけるよう努力する。

和泉(司会者)

今治サッカー場構想の記事が愛媛新聞に載りましたが、それについてのお話を亀井社長、お願いします。

亀井(社長)

今日は平日にもかかわらず、大勢の皆様にお集まりいただき、また、日ごろから様々なサポートをしていただき、皆様には本当に感謝しております。ありがとうございます。

GM からライセンス制度の説明がありました。それらについてご説明させていただきます。私は以前からずっと、街中スタジアムほしいと言いつけています。サッカーだけではなく、愛媛 FC の 4 つのビジョンの一つである、経済効果としても必要と考えています。どの地域でも、どのクラブでも街中スタジアムには経済効果があります。それらの面も含めて街中にできることが一番望ましいと考えています。

・今までニスタをホームスタジアムとしてやってきたのが現実だが、「街中スタジアム」の話はずっとしてきている。街中、交通の便がよく、多くの人が集まる場所がいいと、どのクラブも思っている。J2 昇格後、砥部のニンジニアスタジアムをホームグラウンドとしてきた。ずっと、なんとかして、街中スタジアム作れないかと声を上げてきた。

昨年秋、知事から、調査の結果、松山市内でスタジアムを建設できる場所はない。という話をいただいた。どういった調査をしたかは詳しくは聞いていない。その際に今治ならできる。専用スタジアムで。と内々に話があった。その話を受け、いろいろな問題があるから難しい(今治スタジアムの話は)と答えた。クラブにとっては、クラブライセンスの問題が先決。ニンジニアスタジアムのいいところ、悪いところはある。が、まずは、クラブライ

センス制度をニンジニアスタジアムでクリアしないといけないと思っている。大きな施設を作るのはお金もかかるし、大変で県、市の方からもいろいろ協力を得ている。そういったところから、まず、ニンジニアムでのライセンスをクリアすることが一番と考えている。

観客動員、スタジアム問題、などいろいろ問題を抱えている中で、現状報告させてもらおうと、今の考え方がこれです。今治については作ることが決定ではない。構想はある。今治ですと、どうなるのか、ニンスタですとどうなるのかを含めて考えていきたい。

友近(参加者)

詳しいお話ありがとうございました。いろいろな話を聞いて受け止めていたことと、だいたいイメージは同じでした。ただ、怖いのは、いろいろなことが、急に変わったりして、それについて、対応できるのかということ。秋、春制導入も言われていますが、それで、急にハードルが上がったりする時はどうなのか。今はそれで大丈夫だけど、やれ、アクセスがとか、急に言われたときにどうするのが不安に思っています。

亀井(社長)

おっしゃる通り、数年でJの仕組みが変わってきた。グローバル化でFIFAのルールに合わせている。そういった中でのスタジアム基準は、現状では当初は厳しかった一例をあげるとJ1なら、駐車場も10000台は確保するように、増やす努力をしなくては行けない。駐車場からスムーズに出られるように出入り口を増やすよう工夫をしなくては行けないなど。そういったJからの意見とその意見を受ける県の意見も聞いて進めている。が、現時点では15000人以上が最低基準。屋根の基準は今はB基準で絶対になければということではない。あればよりいいし、来年には、ルールが変わる可能性もあるので、さまざまな基準を早めにクリアしていくことで、安心できる。選手との契約についても、春秋制になることは、海外へ行く選手にとっては良い制度となるが、国内選手、J2クラブにとっては必ずしもプラスではない。

和泉(司会者)

JリーグのHPにライセンス基準について、載っているので興味のある方は、またご覧ください。

青木(参加者)

えひめオーレの青木です。いつも発言するので嫌われちゃってるかもしれません(笑)2つ意見、お願いがあります。

①今治市のサッカースタジアム構想は、今治市を中心に県が動いている状態だと思うが、返事を待っているだけではなんだか不安。今治に行くのは経済的にもいろいろな意味では

不安だともうが・・・。

②クラブライセンス制度について Jリーグはいろいろ言うてくるが、社長は Jリーグの理事になったのだから、審判のライセンス制度もきちんとしてもらえるよう意見してもらいたい。評価基準をきちんとすべきだ。誤審の報告はないし、問題のあるレフリーも変わらない。チームに対してきちんとやれ(クラブライセンス制度について)というのだったら、リーグもそこをきちんとしてほしいと思う。

亀井(社長)

今治問題は、我々としては、愛媛県さんには、正式に難しいとお答えした。現時点では松山市をホームタウンとして愛媛県全域をホームタウンとするチームで、Jリーグでは人口の多いところから人口の少ないところへのホームタウンの移動は前例がない。また集客も見込めない。Jリーグも、難しいと言っている。我々の判断でも、今までより入場者数が増えるのか？と考えると少なくとも同じは確保できたとしてもそれ以上になることはないと考えている。専用スタジアムは非常に魅力ですが、チームの財務的な問題も含め、大勢の方に支援していただくためにも、今治行きは難しいと我々は考えていますといった。知事はそれを受けて、愛媛 FC の意見だけでなく、皆様の意見も聞かないといけないとおっしゃった。

時期や方向性がはっきりしていないが、どこかではっきりしないといけないと考えている。知事が考えている今治は、今治新都市構想の中で、県がしなくてはいけない役割がある。企業誘致、住宅誘致ができつつあるが、県としては、商業、興業ゾーンに関しては明確になっていない。県としての役割を実行する中にスタジアム構造があるのではと思う。また、今治市としても、活性化のために何かやらなくちゃだめだという中で、積極的に考えている(今治スタジアム構想を)と聞いている。いつまでに決めないといけないかははっきりと言われていないが、9月中かなと感じている。同時に、ライセンスも 9/30 だし。並行して進めていきたい。

我々がお金を出して建てられればいいが、それは大変な金額がかかることで、現状不可能な話です。ライセンス制度と並行して考えていかないといけない問題で、この問題を解決するためには、自治体との協力関係、支援が不可欠である。

(レフリー問題)

毎年、意見している。が・・・。

台所事情が影響している。レフリーの数(プロ)を増やさないといけない。

プロ契約のレフリーを増やすには、Jリーグの経済事情が・・・やりたいけど、やれない。というのが現状。各チームで試合後すぐに、マッチコミッショナーへジャッジについて意義を申し立てているが・・・。公開すべきじゃないか？とっていただいたが、公開しても、ジャッジの結果は変わらない。その時点では、コミッショナーがレフリーにヒアリン

グして、その場でどういった理由でのジャッジかの回答がある。そこでも、納得がいかない場合、異議申立書で意義を申し立てる。返事は様々。Jリーグとしてはその内容をレフリース研修に活かしている。と聞いているが、具体的にどんな風に活かしているかは聞いていない。レフリース内での評価はあり、評価内容で、J1 から J2 へ降格したり、研修を受けたりはしている。

流れとしてはそういった感じのものがある。

・レフェリーにもスポンサーがついて、レフェリーにかかるコストが負担できるような組織化ができるのが1番ではないか。(アディダスはユニなどの一部をサポートしているだけ)それができればいいのではないかと思っている。日本サッカー協会に審判委員会はある。レフリースも人間である。が、人によってはジャッジが違うのは問題。クラブとしては、誰が吹いても変わらない基準を常に求めている。問題になっているすべてを公表するかどうかは組織としては難しい。

和泉(司会者)

今治の話が現実としてある。愛媛 FC がそこに行くのが前提。と聞いている。いろいろな人がいろいろなことを言っているが・・・今治のスタジアムの建設は、愛媛 FC の移転が条件だと今日初めて聞きましたが。みなさんご存知でしたか？

岡田(出席者)

まず、小さなクラブとして出発した愛媛 FC が今ここにあることは奇跡的だと思っているし大変感謝しております。ありがとうございます。

財務基準についてお聞きしたい。損失計上については今季からカウントされ、債務超過は来シーズンからとのこと。

愛媛 FC が今抱えているのは、観客動員問題だと思う。スポンサー問題もあるが、やはり、観客を増やせないことが、収入に問題を生じさせる。

仮に、スタジアムの観客席が、15000 人になったとき・・・。今は 3000 人で、5000 人入ったらすごいくらいなのに、15000 人のスタジアムになった時に、それでは、ガラガラで、選手のモチベーションにも影響してくると思う。サポーターはそれぞれがいろいろなことをして観客動員に取りくんでいる。

クラブとして、どんなことに取り組んでいるか？また、サポーターに協力してほしいことがあれば教えてほしい。

亀井(社長)

J2 昇格後 5000 人をずっと目標としているが、達成していない。クラブとして色々取り組んできたが、ネタも尽きてきた感もある。が、まだ、していないこともあるとも感じている。私自身、つついエンジニアスタジアムの立地、屋根、天候による言い訳にしま

っている部分も正直ありますが、それではいけないとも感じている。

単純に一人が一人を連れてきてくれれば倍になるので、まず、お願いしたいことです。

今のサポーターの方が、まず、お一人誘ってきていただく、そして、そのためにはクラブとして協力をしていきたいと思っている。

過去にも 10000 人来た試合がありますが、その際に足を運んでくれたかたの大半のデータが取れていない。来ていただいた方のデータをどうとれるか、それに対してどうアプローチができるかを考えていきたい。

小学校など学校単位で招待もしているが、招待では基本経営が成り立たない。観てもらって面白い、また、行こう！と思ってもらうことが大事だと思っています。試合以外のイベントも工夫をしているつもり。だが現時点で、集客に関しての決定的な案はないので、みなさんのアイデアや意見があれば聞かせてほしい。

今後は一例ですが、駐車場をすべて無料にしたときにどうなるかの実験やバスを無料にするか、安くするかなど案としてはある。いろいろな方法や案を検討し、実施につなげていきたい。

岡田(参加者)

社長のお話を受け、データのことも含め、私は固定客化が大事だと思います。動員を安定させるために、まず、ファンクラブ会員を増やすことが大切ではないでしょうか？ファンクラブの会員なら個人のデータも取りやすいし、アプローチもしやすい。50 万人松山市民がいる。100 人に一人で 5000 人。ファンクラブ会員を増やす取り組みをしてもらいたい。

寺田(参加者)

日ごろクラブ運営にご苦労されていると思います。ありがとうございます。

- ① ニンスタの障害者席には現在屋根がないので、ずぶぬれになっている。せめてあそこに屋根を作ってほしい。
- ② 知事の回答として、スタジアムを松山市内に建設するのは難しい、ということだったが、現状の堀之内を避難場所としているが、人が避難してきた場合、場所があるだけで、設備は全くない状態である。それであれば、サッカー専用スタジアムとしてのスタジアムを建設するのではなく、非常用の備蓄庫としての役割を果たす施設として建設できないか？
- ③ 観客動員について、観戦された人の中から、選手の名前がわからないという声をよく聞く。TVCMなどでFC選手を起用できないものか？
- ④ レディースについて、将来、トップがJ1に上がるより、レディースがなでしこに上がるのが早いのではないかと感じてもある。なでしこにあがる基準を知りたい。また、働きながらの活動などの環境を改善してもらいたい。

亀井(社長)

障害者席の屋根はその通りです。我々でできればいいのですが……。現在の場所で屋根の設置をするか、新たに場所を設けるかは不明であるが、意見としてクラブの考えを伝えます。

堀之内の件、私も以前からそれは思っている。多機能型施設という方向で持っていくのは可能戦はゼロではない。ですが、堀之内の施設が市坪に移動した経緯、思惑が、県、市ともにあるので、堀之内に建設となると、なかなか時間がかかる問題。まずは、現状 15000 席をクリアしたいと思う。

今愛媛 FC の経済効果は現状推定 5 億円。J1 にあがれば 16 億と考えられる。これが、スタジアムが街中になれば、33 億、初年度は建設費等がプラスされるため、50~60 億とみられる。私も今のスタジアムで環境がいいとは思っていない。試合後にどこかで飲んだり食べたりできると盛り上がるし、飲食店、商店にお金がおちる。そして、そのお金をもとに愛媛 FC を応援するといういい循環が生まれればいいと考えている。それもこれも街中スタジアムが基本です。私もあきらめずに行動していきたい。

選手の名前について、試合を見ながらでも選手の名前がわかりやすい。ということを工夫していきたいと思っている。TVCM に出すのはスポンサーさん頼まないといけない。お願いしていこうと考えているが、難しい部分もあるので現状ではメディアに取り上げていただく機会をこれからも増やしていく事が優先だと思います。

(レディースについて)

立ち上がって 1 年目でチャレンジリーグに入ったばかり。もちろんなでしこリーグに昇格することを前提に活動していますが、まずトップチームが今のままでいいとは思っていない。トップチームは JFL から 5 年で J2 に昇格し、5 年で J1 に昇格することを目標に活動してきたが達成できていない。だが、今シーズンよりプレーオフ制度ができたことでチャンスができた。この 3 年はトップチームが J1 目指すことをまず夢としてやりたい。みなさんもそう思っていると思いますし、後押ししてほしい。レディースは上位 2 位になれば、なでしこに上がれるが、数年はかかる。そうするには、選手の補強もしないといけない。まずは、トップチームがいい成績をおさめることで、それらもついてくる。今収入は 5 億。J1 で勝負するには 7 億から 8 億が必要になります。スポンサーさんだけでなく、皆様のご意見などご協力もいただきたい。

ガンバ大阪の取り組みで、スタジアム古くなったので、寄付を集めて 140 億の目標で専スタ 30000 人収容のものを作ろうという取り組みがある。ガンバ大阪のような形もやり方のひとつとしてはありではないか。

宮本武直(参加者)

えひめオーレの宮本です。心がすっきりしました。いろいろなところから話を聞いたり、

どうなっているのだろう？と思っていたことを教えていただいて、ありがとうございます。僕は、愛媛 FC を盛り上げたい。愛媛 FC があることで、毎日楽しい暮らしができています。1 年以上前から、署名するなど、いろいろできる行動を考えてはいたが、今じゃないかな、などという感じで思いとどまっていた。

今日のこの話を受けて、私たちが何もしないのではサポーターではないのでは？

なので、知事の言う、みんなの意見⇒をサポーターだけでなく、潜在的に愛媛 FC を応援してくれている人たちも含めてアンケートをとってみて、意見を集めてみようと思いますが、いいですか？

(拍手！)

グループ内だけではなく作成なども、公表した形でしていきたいと考えている。マスコミさんにも協力をお願いしたい。また、FB などでもグループページで議論しているので、参加してください。

亀井(社長)

ありがとうございます。

アンケートはしたいけど、チームとしてするのは難しいので、皆さんがそういった意見を出していただければ嬉しい。ぜひお願いします

青木(参加者)

アンケートを実際行う際、スタジアム内でもサポーター対象に行くことになると思うが、スタジアム内でのアンケートなどは、J リーグの規定があるように聞いているがそのあたりは大丈夫なのでしょうか？

亀井(社長)

それは大丈夫です。

スズカ(参加者・お名前違ってたら申し訳ありません)

専用スタジアムの提案、必要性について考えたときに、専用スタジアムを愛媛 FC のためにだけ作るという誤解をしている人がたくさんいる。新しい専用スタジアムは市民みんなのためのスタジアムだということを広くみんなのためのものだということを草の根的に、私たちのレベルからでもアピールしたほうが良いと思っている。

亀井(社長)

私もそう思っています。

小学生、中高生、にも、広く利用していただくとか、いろいろなあり方があると思う。

最近は複合スタジアムがヨーロッパなどでは多くあり、駅と一緒にあったり、ショッ

ピングモールと一緒にいたり、広く大勢の方が集うことができ、利用できる施設にすることが望ましいと考えている。

大野(主催者)

今日は皆様ありがとうございました。

サポーターの皆様、チームとともに皆で一緒になって愛媛 FC を盛り上げてきましょう。

今日の会場費、私の財布から前もって支払っています。カンパお願いします。

和泉(司会者)

余った場合はコレオ費用などになるのですか？

大野(主催者)

先日の岡山戦での L フラッグのカンパもたくさんいただいて、余った分があり、それは、ゴール裏ネットの口座に入れています。あまれば、そのようにして、コレオの足りない分に充てていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

終了